

奈良先端科学技術大学院大学授業アーカイブ自動翻訳システムに係る  
基礎データ整備事業「日英翻訳」公募要領

## (1) 事業名

奈良先端科学技術大学院大学授業アーカイブ自動翻訳システムに係る基礎データ整備事業「日英翻訳」

## (2) 事業目的

国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学（以下「本学」）では様々な科学技術分野の最先端の取組みを大学院講義科目として開講している。これらの科目は講師等の了解を得て当該講義映像を授業アーカイブとして整備し視聴提供している。今後はこれらの講義映像を留学生が簡便に利用できるよう授業アーカイブ自動翻訳システム（以下「翻訳システム」）を整備することとしており、本事業は翻訳システムの基礎となる日英翻訳データを整備するもの。

## (3) 事業内容

大学院講義科目のテープ起こしにより作成した日本語テキストデータを基に本学が定める翻訳ルールに従い日英翻訳を実施するもの。なお、本学における発注文字数については、マイクロソフト Word 2013 Windows 版の「文字カウント」機能を用いて導き出した「全角文字+半角カタカナ」の数値とする。

講義名称「H26ロボティクス（第1回）」	24,207文字
講義名称「H26ロボティクス（第2回）」	23,185文字
講義名称「H26ロボティクス（第3回）」	36,387文字
講義名称「H26ロボティクス（第4回）」	31,830文字
講義名称「H26ロボティクス（第5回）」	23,639文字
講義名称「H26ロボティクス（第6回）」	34,626文字
講義名称「H26ロボティクス（第7回）」	35,936文字
講義名称「H26ソフトウェア工学I（第4回）」	19,428文字
講義名称「H26ソフトウェア工学I（第5回）」	18,208文字
講義名称「H26ソフトウェア工学I（第6回）」	18,495文字
講義名称「H26ソフトウェア工学I（第7回）」	17,824文字
講義名称「H26ソフトウェア工学I（第8回）」	7,153文字
講義名称「H26ソフトウェア工学II（第1回）」	21,799文字
講義名称「H26音情報処理（第4回）」	24,245文字

【資料 1】

講義名称「H26音情報処理（第5回）」	27,438文字
講義名称「H26音情報処理（第6回）」	19,916文字
講義名称「H26音情報処理（第7回）」	26,214文字
以上 計	410,530文字

\*今回発注対象講義の日本語テキストデータについては、著作権処理の都合上、公募時には提示せず、後日、契約締結後に当該業者に対してのみ提示する。そのため公募に際しては、発注文字数のみを提示するので、日本語テキストデータの発注イメージについては資料2『日本語テキストデータ』参照。

\*翻訳後の納品イメージについては資料3『英語翻訳データ』参照。

\*本学の翻訳ルールについては資料4『日英翻訳ルール』参照。

なお、日英翻訳ルールに係る詳細説明については契約締結後に当該業者に対してのみ実施する。

(4) 予算額 上限 6,650,586円（税込）

契約は、単価契約とする。毎月末までの納品分について、単価契約に基づく請求額を翌月末までに支払うものとする。

(5) 実施期間（納期）

契約日（9月中旬予定）～平成31年2月28日（木）

ただし、1月ごとに最低2講義分以上の英訳済みテキストの納品を行うこと。

また、すべての納品が完了した日から1年以内に、納品された英訳済みテキストの瑕疵を指摘された場合は、速やかに対応すること。

(6) 応募資格

- ① 国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学契約事務取扱規程第7条及び第8条の規定に該当しない者であること。
- ② 国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学学長から取引停止の措置を受けている期間中の者でないこと。

## (7) 提出資料（以下資料のうち⑤のみ任意）

	名称	部数
①	試訳票（資料5『試訳票（提出用）』参照）	1
②	上記の試訳票の電子媒体（Excelファイル）（外部記憶媒体にて提出）	1
③	会社概要	1（*1）
④	見積書（内訳を記したもの）	1
⑤	ワーク・ライフ・バランス等の推進に関する指標による評価の対象とする認定等を証する書類（*2）	1

\*1 会社概要が冊子体の場合には4部

\*2 当該認定等の根拠法令に基づき厚生労働省が定める各都道府県労働局長が発出した認定通知書等又は内閣府男女共同参画局長の認定等相当確認通知書がある場合は、その写し

※提出された書類及び外部記録媒体は返却しない。

※提出された書類及び外部記録媒体は、選考のための審査の目的以外には使用しない。

※⑤について、認定の取消等によって提出時と異なる状況となった場合には、本件の問い合わせ・提出先に速やかに届け出ること。

## (8) 審査基準及び選定方法

以下①、②の条件両方を満たす者を契約交渉権者として選定する。

① 見積金額が、(4) 予算額を上回っていない。

② 試訳評価で得られた得点が、全体(40点満点)の7割(28点)を上回っており、各評価対象4カ所のうち、審査員全員が0点と評価した箇所がない。

上記の条件両方を満たす者が複数あるときは、試訳、見積金額、並びにワーク・ライフ・バランスを推進する企業として法令に基づき認定を受けた企業その他これに順ずる企業を評価し、以下の評価方法により順位を付するものとする。順位を付した場合にあつては、順位の高い者から契約締結に向けた交渉を行い、契約交渉に合意できない場合のみ次の順位のものとの交渉を行う。

【評価方法】下記(a)及び(b)を合計した総合得点を1.5乗して得られた数値（小数点以下第9位四捨五入）を更に見積金額（消費税除く）により除して得られた数値（小数点以下第9位四捨五入）の大きい順に順位を決定する。

## (a) 試訳評価

「試訳票（提出用）」を4つの試訳対象に分割し評価する。各評価対象について

## 【資料 1】

科学技術用語の正確性並びに表現性を総合的に評価し1カ所につき10点満点で採点を行う(40点満点)。(資料6『試訳評価における基準及び評価方法』参照)

### (b) ワーク・ライフ・バランス等推進企業評価(客観的審査)

提案業者におけるワーク・ライフ・バランス等の取組に関する認定内容等により加点(0.2~1.2点)を行う。(資料7『ワーク・ライフ・バランス等の推進に関する指標に基づく配点基準』参照)

### (9) 結果通知

審査結果は、契約交渉権者との契約条件の調整及び契約後、合否のみを応募者全てに通知する(9月下旬予定)。なお、得点などの詳細については公表しない。

### (10) 契約の締結に関する事項

契約交渉権者のうち順位が最上位の者と、見積書等を基に契約条件を調整するものとする。ただし、契約条件の合意が得られない場合には契約締結を行わない場合がある。なお、その場合は次の順位の者と契約締結を図るものとする。

### (11) その他

応募書類の作成・提出等、応募に係る一切の費用は応募者の負担とする。

契約相手先には、翻訳を実施するにあたり専門用語等の英訳指定を行う場合がある。

## 【問い合わせ・提出先】

奈良先端科学技術大学院大学 学術情報課 (担当) 桑野

〒630-0192 奈良県生駒市高山町8916番地の5

TEL:0743-72-5623 FAX:0743-72-5016 E-mail:lib-is@ad.naist.jp